

ITSシンポジウムの投稿論文数および参加者数の推移

論文は投稿時ベース。筆頭著者の所属で算出した。

属性	投稿論文数(※1)				参加者数					
	省庁 団体 自治体	大学 高専	企業	計	省庁 団体 自治体	大学 高専	企業	市民	その他 フリー ランス等	計
第1回2002 (一橋記念講堂)	19 (13団体)	62 (29大学)	24 (19社)	105	56	134	155			345
第2回2003 (京都リサーチパーク)	9 (5団体)	41 (21大学)	19 (15社)	69	28	96	121			245
第3回2004 (名古屋大学)	10 (4団体)	53 (27大学)	11 (9社)	74	19	81	74			174 (※2)
第4回2005 (東京大学)	14 (8団体)	45 (20大学)	8 (7社)	67	48	90	93			231
第5回2006 (東京大学)	15 (12団体)	45 (20大学)	11 (9社)	71	57	90	161			308
第6回2007 (神戸市産業振興センター)	14 (4団体)	55 (25大学)	18 (15社)	87	47	139	137			323
第7回2008 (日本大学)	10 (5団体)	70 (32大学)	15 (8社)	95	72	166	96			334
第8回2009 (広島市立大学)	10 (6団体)	68 (33大学)	25 (18社)	103	43	157	96	48		344
第9回2010 (京都大学)	14 (6団体)	84 (32大学)	20 (16社)	118	40	164	126			330
第10回2011 (東京大学)	10 (5団体)	72 (26大学)	16 (11社)	98	14	122	108			276
第11回2012 (愛知県立大学)	13 (7団体)	90 (31大学)	20 (15社)	123	16	121	107	100 (※3)		244
第12回2014 (東北大学)	13 (3団体)	76 (33大学)	20 (15社)	109	15	136	127	5		283
第13回2015 (首都大学東京)	11 (6団体)	66 (31大学)	21 (15社)	98	38	111	163			312
第14回2016 (北海道大学)	14 (6団体)	49 (25大学)	21 (18社)	84	38	96	149			283
第15回2017 (九州大学)	13 (6団体)	54 (24大学)	27 (16社)	94	44	112	165			321
第16回2018 (同志社大学)	15 (8団体)	70 (30大学)	16 (11社)	101	50	148	150			348
第17回2019 (石川県地場産業振興センター)	8 (5団体)	69 (33大学)	25 (17社)	102	51	134	144			329
第18回2020 (オンライン開催)	10 (4団体)	81 (37大学)	30 (18社)	121	25	131	110			266
第19回2021 (オンライン開催)	14 (5団体)	73 (31大学)	26 (18社)	113	34	142	109		1	286
第20回2022 (柏の葉カンファレンスセンター)	11 (5団体)	58 (26大学)	18 (14社)	87	64	153	122		1	340
第21回2023 (富山国際会議場)	4 (3団体)	70 (30大学)	31 (24社)	105	37	157	139			333
第22回2024 (熊本城ホール)	4 (4団体)	67 (25大学)	44 (28社)	115	31	130	214			375
第23回2025 (広島国際会議場)	13 (7団体)	65 (29大学)	38 (27社)	116	48	143	264			455

※1： 論文数は投稿時の数に統一した。

※2： ITS世界会議名古屋2004の併催イベントとして企画したため、会期を1日に短縮して開催した。

※3： 開催地の愛知県立大学より100名強の学生が講義の一環として聴講した。